

仙台アセットマネジメント研究会でセミナー開催

“金利上昇下の2026年の不動産動向と税制解説”

金利上昇下の26年不動産動向と税制解説

仙台アセットマネジメント研究会でセミナー開催

仙台アセットマネジメント研究会は第208回例会「不動産特別セミナー」を仙台商工会議所不動産部会共催で4月14日、仙台商工会議所で開催した。約100人が参加した。テーマは「2026年の不動産動向と税制改正のポイント」。

第1部は『金利上昇下における不動産市場の現状と見通し』について、（一財）日本不動産研究所シニア不

動産エコノミスト吉野薫氏が「潤沢な資金を背景に当面は強含みの見通し。金利や建築費高騰を前提に事業計画・投資計画を立案する必要がある」と指摘。

第2部では、資産税を中心とした『26年税制改正のポイント』を税理士法人山田&パートナーズ仙台事務所長半田生穂税理士が説明し、参加者は熱心に聞き入っていた。

